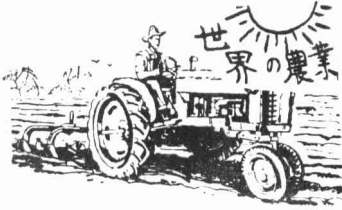


# 琉球大学学術リポジトリ

## 青年と目標

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-07-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 古謝, 瑞幸 (訳), Koja, Zuiko メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/21087">http://hdl.handle.net/20.500.12000/21087</a>

# 青年と目標



之はアメリカの一少年が高校の入学当時から農業経営家として成功することを夢み、F F A（「アメリカの将来の農民」と称する若人の組織）で最優秀の成績を目指して努力してきた物語りである。

ロバート・ウオーレイは少年の頃から農業にあこがれた。

しかし、一九四九年の秋、ペンシルベニア州、マーサー郡にある高等学校の職業農業科に入った時には彼の目標からは随分遠かった。彼は金はなかつたけれども氣を失わず、それを獲得する方法を知っていたので早速その実現に乗出した。金については賢く借りて信用を保つことを学んだ。

生産物が徐々にしか出来ない間は企業からの利益は事業の拡張に再投資された。

現在、結婚して愛妻ディライスさんとの間には一才になる息子のがりーさんがいる。

彼等は一五一エーカーの酪農場を経営し、飼料作物を栽培する一方肉用鶏と豚を飼育している。ロバート君の農業で身を立てたいと言ふ目的が達成されつつあると言ふことは昨年のカンサス州における全米F F A大会においてはつきりしていた。

彼が職業農業科に入った時、父から四、八〇〇円の金を借りそれで登録されたシャシー種の仔牛を買った。

彼はその第一年目に二町歩のトウモロコシ畑を経営した。しばらくしてから彼は養豚企業のために父から再び金を借りることにした。

高校の三年生迄に二二五〇羽の肉用鶏を飼育し、この養鶏事業に要する金は地方銀行の融資をうけ、鶏を売った時に支払う仕組になつた。

一九五四年、鶏から二七四、九〇〇円の労働所得を収めたが、収益はそれ以来随分少くなつたので、去年鶏の羽数を二、二〇〇羽に減じた。

彼が高校を卒業して間もなく、近くにある農場が売出されることになつたので、祖母と銀行から借りた金と自分の預金とでその土地を買取つた。又農場に使う機械を購入する資金を敷えた。



写真はロバート君と乳牛

それは一九五三年、彼が結婚後間もなくのことであつた。

ロバート君はトラクター、その他の農場経営上必要な色々な機械を含めると約七、五万円に値する農業機械をもっている。

そして彼の資産は約四九、二万円に達しているが、現在土地と建物に約二五、二万円の負債をもっている。

彼の目的の達成は決してなまやきしいものではなかつた。

しかし年と共に健全な農業経営は着々と遂行されて行つた。傷害による最優秀の二頭の乳牛の損失、肉用鶏とミルクの値下りは不利となつた。これらの障碍にも拘らず、彼の農業に対する執意は決してくじけるものではなかつた。

乳牛の数が増すと共に又生産も向上した。彼の所有している家畜は経営に依つてかせいだ金と、農民金庫から借りた金のおかげである。彼は耕地の改善にも力を注いだ。古い生垣を取除いて農場を広くし、牧草を植えた。彼はサイロー（牧草をたくわえるもの）や広い穀物倉を建てる等多くの改善をしようと計画している。

指導力に卓越した彼はマーサーのF F A支部に二つの事務所を持ち、一九五三―一九五四年の間、ペンシルベニア州のF F A会長をつとめた。又学校では音楽隊やフットボールの部員として活躍した。卒業後、土地局やマーサー郡の乳牛改良協会の活動的な役員になつた。

彼は今や、一九四九年高校入学当時、夢に思つていた事を成就しただけでなく、水入らずの家庭で裕福な生活を営み、社会的な活動にも活発で、常に将来の見通しをつけて精励しているのである。

（F F O誌五月号・古謝 瑞幸 訳）

発行人 島 袋 俊 一

印刷所 沖繩タイムス社

発行所 琉球大学農家政学部